

2022年8月17日

愛知製鋼株式会社

代表取締役社長 藤岡 高広 殿

無罪判決が確定して4カ月が経ちましたが、貴殿は弊社への謝罪を拒否した上で、6月22日の貴社株主総会で、“本蔵らによるMI技術の盗み出し事件は事実であり、「対応は正当」だった”と判決を認めず、「係争中の裁判で当社の考えを伝えたい」と、引き続き弊社への裁判攻撃を続けることを表明し、以下の3件の裁判攻撃を強めています。

- 1) 私と弊社の預貯金や財産や株式の仮差押えの裁判の継続
- 2) 15億円の損害賠償請求訴訟の継続
- 3) 貴社の請求が退けられたGSR特許無効審判（記載要件の不備）の審決の取消訴訟。（なお、GSR特許無効裁判については、GSRセンサの進歩性の審決は、貴社も不服申立てをせず、確定しており、審決の正しさは貴社も認めています。）。

私は、貴殿に対し、改めて、直ちに不毛な裁判攻撃を中止して、今回の一連の非常識な裁判事件を起こした点について、社内で真相究明調査を始めると同時に、弊社に謝罪して、話し合い解決の立場に立つことを要求します。

弊社は、貴社からの新たな裁判攻撃に対して防衛的に対応すると同時に、裁判の結果明らかになった事件の真相、つまり貴社は、“MIセンサと称してGSRセンサ模造品を開発”するためにGSR技術とベンチャー企業の乗っ取りを企んだという、この正義に反する行為を批判するために、

- 1) 貴殿らを5月10日**虚偽告訴罪**で刑事告訴し、
- 2) 5月16日貴社らに対し**120億円の損害賠償請求**訴訟を提訴し、貴社及び貴殿らに反省を促すことにしました。

貴殿からの誠実な回答、つまり理由のない刑事告訴をしたことへの謝罪と今後の話し合い解決に対する前向きな回答を9月20日までに希望します。なお、期日までに回答が無い場合、回答拒否と理解させていただきます。

以上

マグネデザイン(株) 代表取締役社長

本蔵義信